

# 普通科 1年 SS グローバル教養 I (美術科) 学習指導案

授業者 美術科教諭

- 1 日 時 平成30年6月27日 水曜日
- 2 場 所 1年生普通教室
- 3 学 級 普通科1年生 (40名)
- 4 テ ー マ 「透視図法」
- 5 使用教材 図版 (ラミネート加工したもの)、自作プリント
- 6 本時の目標 一点透視図法から三点透視図法までの描き方を学習し、身の回りの物を単純な箱 (ブロック) で捉える見方を知る。そして、対象を立体的に表現する素地を養う。また、導入で透視図法が利用された絵画を見せ、作品の背景を想像するなどして美術史への関心を持たせる。
- 7 本時の展開

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点
導入 (15分)	ホルバイン作「大使たち」を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に描かれている歪んだ図が何かを考える。</li> <li>・歪ませて描かれた図は頭蓋骨であるが、頭蓋骨だとはっきりわかる角度を探す。</li> <li>・モチーフの意味や、歪ませて描かれた理由を考える。</li> <li>・透視図法が使われた作品について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話しながら考えさせる。</li> <li>・図版を手に持って見ると発見しやすいと伝える。</li> <li>・時代背景の影響が強くあることを伝え、美術史の面白さを感じさせる。</li> <li>・様々な作品で透視図法が利用されていることを伝える。</li> </ul>
展開1 (30分)	透視図法についての講義と実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・透視図法における重要語句について</li> <li>・一点透視図法</li> <li>・二点透視図法</li> <li>・三点透視図法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでお互い教え合いながら透視図法を実践していくように伝える。</li> <li>・二点、三点透視図法では、水平線上にある消失点同士が近いと不自然な図形ができるため注意する。</li> <li>・三点透視図法は大きく描くと迫力が出ると伝える。</li> <li>・最後は自分の目で不自然ではないかを確認させる。</li> </ul>
展開2 (15分)	透視図法を用いた見方についての講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消しゴムを立体的に描くためには</li> <li>・机を立体的に描くためには</li> <li>・人間を立体的に描くためには</li> <li>・地面や床の描き方とは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モチーフを箱 (ブロック) で置き換える視点と透視図法を組み合わせることで、立体感や空間が簡単に表現できることを伝える。</li> </ul>
まとめ (5分)	本時の感想を記入する。	